

猪苗代町10年概成アクションプラン

令和5年 3月

猪 苗 代 町

1 目的

猪苗代町の下水道事業は、昭和56年に着手して以来、今日まで約41年間にわたり整備を進めてきており、令和3年度末で汚水処理人口普及率86.4%（下水道56.6%）となっている。

今後は、残された地域に一刻も早く汚水処理施設を整備する必要があるが、人口減少の時代の中、これからは整備のみではなく、改築・更新等の老朽化対策や農業集落排水処理施設を公共下水道に統合することや適正な使用料金の設定など、持続可能な汚水処理事業が求められている。

このような背景の中、今後10年間を整備目標の一定の目処とし（中期目標）、効果的、効率的な汚水処理事業（長期目標）を目指すことを目的とする。

2 方針

中期目標では、現在の都道府県構想で下水道を整備することとしている区域について、エリアを設定し、10年概成を目指すこととする。

整備エリアの設定については、住民意向、将来見通し、地域特性など、地域の実情に十分に考慮することとする。

長期目標では、新堀向地区と称次地区について事業計画区域から除外し個別処理（浄化槽区域）に移行することで、経費の節減を行い、老朽化が進む既存施設の改築・更新及び、農業集落排水に伴う既存整備地区の運営管理の観点を含めた計画とする。

なお、経営の統合は、令和3年度に公営企業法適用となり、経営の統合は完了していることから、今後は、施設の統合を検討する。

なお、当面は下水道について、アクションプランを策定することとする。

2-3 （整備エリアの区分の設定）

① 整備エリアの区分

現在、都道府県構想において、下水道で整備することとなっている地域を以下のエリアに細区分する。

- | | |
|----|---|
| A： | アクションプランで整備するエリア（10年概エリア） |
| B： | 可能な限りアクションプランで（10年程度で）整備したいエリア。
または、アクションプランの後、最優先するエリア。 |
| C： | 投資効果を踏まえて、アクションプラン後に順次整備するエリア。
（下水道の整備はするが時期は未定） |
| D： | 当面、下水道を整備しないエリア。 |

下水道ストックマネジメント事業 予定事業費

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計
管渠	0	0	0	9	7	14	35	14	0	0	79
処理場	59	18	117	0	47	85	46	40	201	482	1,095
計	59	18	117	9	54	99	81	54	201	482	1,174

2-6 都道府県構想、事業計画への反映

① 構想見直しについて

今回のアクションプランに基づき、今後、構想を見直す予定。

② 事業計画の変更について

現在の事業期間が令和8年度までであるため、令和4年度に事業計画の変更を行う予定であり、その際、都道府県構想の見直しと整合を図ることとする。

2-7 持続可能な汚水処理事業へ向けての中長期計画

- ・令和3年度に公会計へ移行した。
- ・令和14年度頃を目標に、農業集落排水施設白津地区を公共下水道に統合する。
- ・令和23年度頃を目標に、農業集落排水施設金曲地区を志田浜特定環境保全公共下水道に統合する。
- ・人口減少等を見据え事業計画区域を見直した、適正な料金改定の想定。

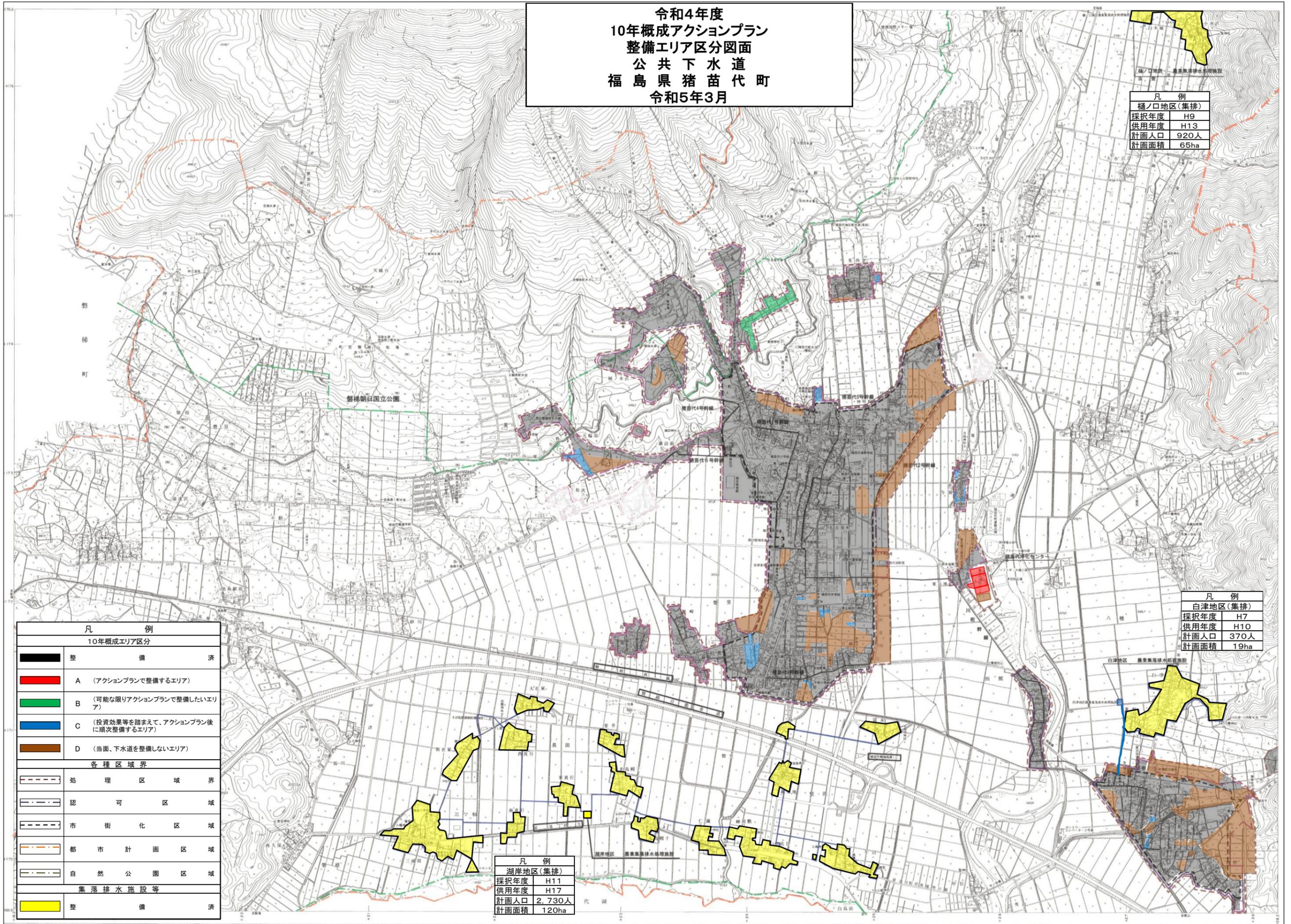
令和4年度
10年概成アクションプラン
整備エリア区分図面
公共下水道
福島県猪苗代町
令和5年3月

凡例	
種ノ口地区(集排)	
採択年度	H9
供用年度	H13
計画人口	920人
計画面積	65ha

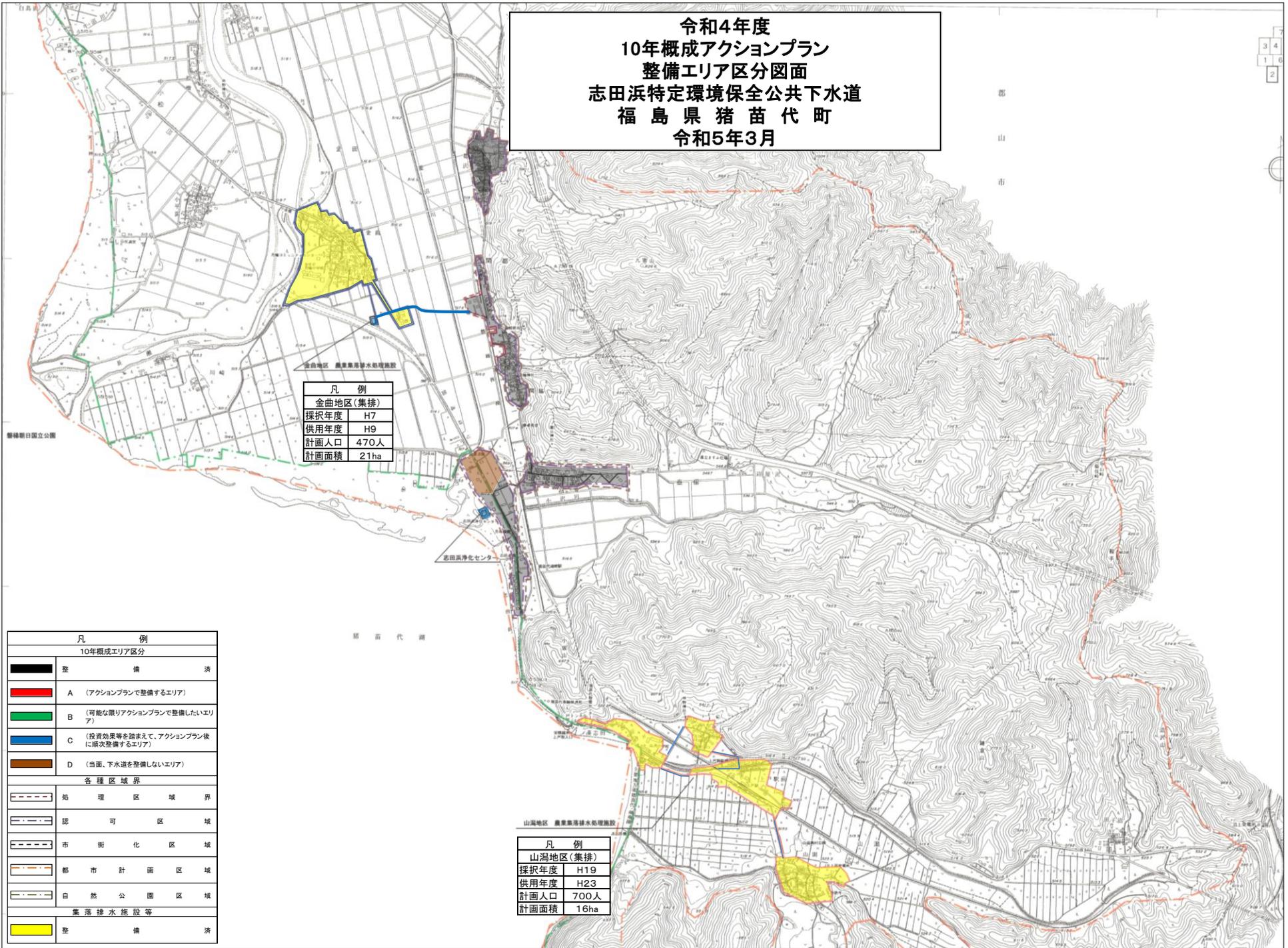
凡例	
白津地区(集排)	
採択年度	H7
供用年度	H10
計画人口	370人
計画面積	19ha

凡例	
湖岸地区(集排)	
採択年度	H11
供用年度	H17
計画人口	2,730人
計画面積	120ha

凡例	
10年概成エリア区分	
	整備済
	A (アクションプランで整備するエリア)
	B (可能な限りアクションプランで整備したいエリア)
	C (投資効果等を踏まえて、アクションプラン後に順次整備するエリア)
	D (当面、下水道を整備しないエリア)
各種区域界	
	処理区域界
	認可区域
	市街化区域
	都市計画区域
	自然公園区域
集落排水施設等	
	整備済



令和4年度
10年概成アクションプラン
整備エリア区分図面
志田浜特定環境保全公共下水道
福島県猪苗代町
令和5年3月



凡 例	
金曲地区(集排)	
採択年度	H7
供用年度	H9
計画人口	470人
計画面積	21ha

凡 例	
山湯地区(集排)	
採択年度	H19
供用年度	H23
計画人口	700人
計画面積	16ha

凡 例	
10年概成エリア区分	
	整 備 済
	A (アクションプランで整備するエリア)
	B (可能な限りアクションプランで整備したいエリア)
	C (投資効果等を踏まえて、アクションプラン後に順次整備するエリア)
	D (当面、下水道を整備しないエリア)
各 種 区 域 界	
	処 理 区 域 界
	認 可 区 域
	市 街 化 区 域
	都 市 計 画 区 域
	自 然 公 園 区 域
集 落 排 水 施 設 等	
	整 備 済